



ヒガンバナ（豊内）

うたごよみ 神無月

「短歌」

渡辺幸士選

甲虫はくぬぎ林を後にして児と飛行機で沖縄へ発つ 森田 房恵
 一同に家族が揃う幸せを感じて食す夏のひととき 緒方 明美
 息子らと佐俣のお湯に久しぶり身も心をも軽くなりたり 赤星 文子
 シュワツシュワー氷の溶ける音のして懐かしき味白きカルピス 赤星 延子
 広島の災害テレビ画像見て吾が身を思い胸痛みおり 松本ぬい子
 見舞いせし九十七の母の手を強く握りて「また来るからね」 塚本 俊子
 亡き友に誘われ始めし歌作り貴方そちらで作ってますか 内田乃武子
 各地での豪雨災害続きいてテレビ画像に手を合わせおり 上村やす美
 「何食べる」「何でも良い」と返事されメニユー浮かばぬ老いの厨房 内田タミエ
 いとけなく孫は歳月重ね来て今日の花嫁いたく目に沁む 塚原 暁益
 何時脱ぎてゆきしか蟬の殻ひとつ蜘蛛の囲いに絡まりており 上村 かず
 「何もかも無くしました」と老人は山に真向かい虚ろに語る 吉永由紀子
 孫に児が生まれて吾は曾祖父か未だ青春のころ戸惑う 渡辺 幸士

「川柳」

渡辺幸士選

「見物」

特攻の知覧の手記を見て見たい 松本ぬい子
 盆踊り見物客も踊り出し 布田 愛子
 寝たままで外国見物テレビ旅 伊豆野ヤエ
 海外で見物よりも土産買ひ 本田長久子
 あゆ祭り浴衣の波に色気あり 早 彦喜

「計画」

息抜きを覚えて街が広くなる 清川みどり
 計画は通院以外余白です 古閑チヨミ
 恨めしい雨で計画お流れか 林 雅之
 終の日のプランは神の手に委ね 渡辺 幸士

「肥後狂句」

北川直美選

たつたこしこ 思った票のはいつとらん みどり
 たつたこしこ がまだし足らんつけの来た 千恵
 たつたこしこ こつて一月暮さなん 梅 香
 たつたこしこ 隠れてジムに通いよる 光
 たつたこしこ こら分くつとが大事ッぞ 葵
 たつたこしこ 春豆植えて実の入らん 公美
 たつたこしこ 一口入ってしまいたい 陽子
 たつたこしこ 孫が笑うた遺産分け 愛子
 たつたこしこ 指輪ぐつさり売ったのに レイコ
 たつたこしこ 一晩がつも無ア賞与 産賀
 たつたこしこ 魚籠覗くなら恥ずかしか 直美

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
 ☎096・2334・2447（内線321）